TOBISHIMA HOLDINGS

「Innovate the future plan」

～ 企業変革への道筋 ～

「Innovate the future plan」について

「Innovate the future plan」は、飛島グループの「トランスフォーメーションの姿」と「その実現に向けた経営戦略（道筋）」を示すものです。

未来に向けた革新を意識し、従来の枠組みや方法にとらわれず、新しい価値や可能性を創造していくことをメッセージとします。

社会課題の解決をキーワードに、企業と社会の持続性を両立させる視点で、未来の建設業の姿を「インフラアンチエイジング産業」という概念で捉え直し、建設事業のリスキリングを推進していきます。そのプロセスを短期・長期、そしてそれをつなぐバトンゾーンという３つの側面からアプローチしていきます。

「トランスフォーメーション」の実現に向けた経営戦略（道筋）

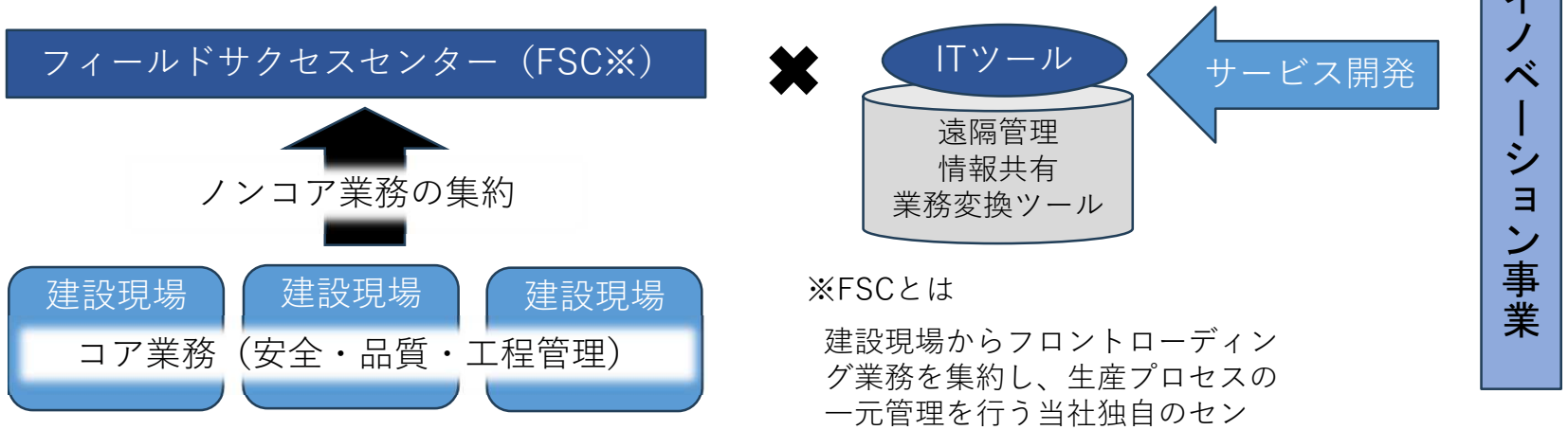
- 「短期」視点・・・足元の課題解決に向け、建設DXの推進で生産プロセスの高度化を追求
- 「バトンゾーン」・・・次世代型事業ポートフォリオへの変革に向け、事業領域の拡充と事業規模の拡大を推進

建設事業

◆「短期」視点

建設事業の深耕　　（DXによる省力化の推進）

デジタル技術を活用した業務見直しによる施工プロセスの省力化を推進



※FSCとは

建設現場からフロントローディング業務を集約し、生産プロセスの一元管理を行う当社独自のセンター機能

◆「バトンゾーン」

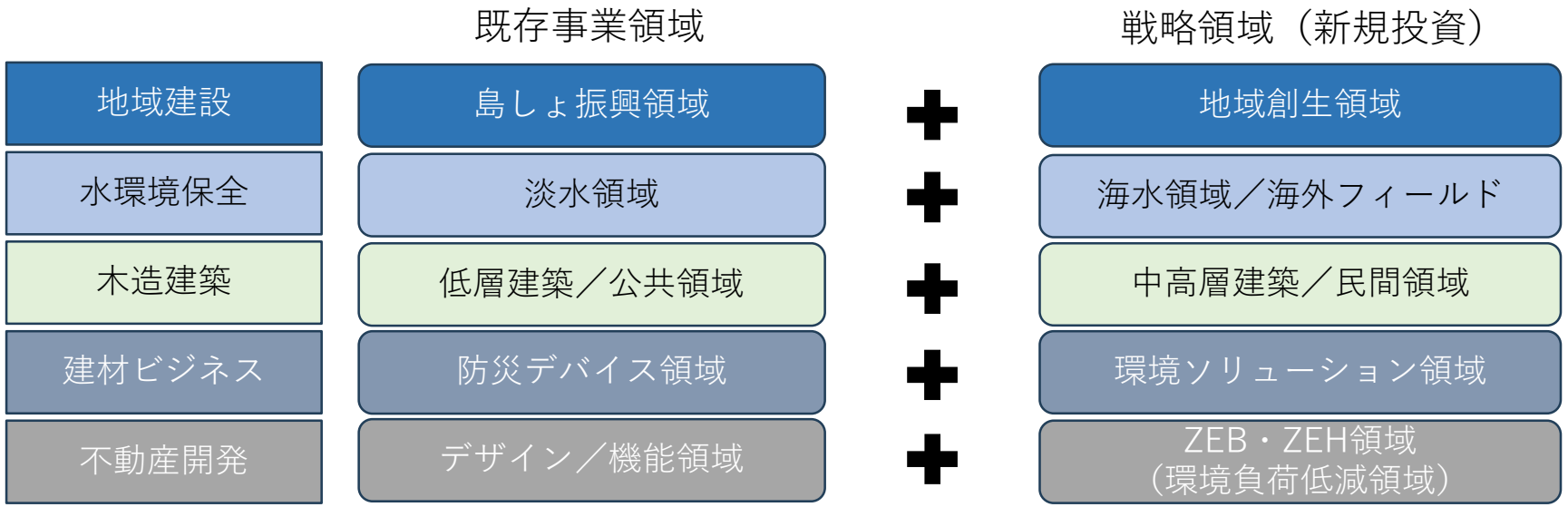
循環型社会への移行を見据えて、リニューアル市場への対応強化

- 技術の高度化による競合との差別化を推進
- リニューアル工事におけるコスト競争力の向上

グロース事業

◆「短期」視点

グロース事業領域の拡充



◆「バトンゾーン」

インフラアンチエイジング技術を有する企業との連携を推進

≪技術開発・人財育成・官民連携≫

【新領域・技術開発の拡充】
長寿命化・防災/減災・環境領域

イノベーション事業

◆「短期」視点

建設DXサービス事業の拡大

既存領域

建設生産プロセス省力化支援
建設DXサポートサービスの提供
（BPO機能／フロントローディング機能）

＋

戦略領域（新規投資）

建設生産プロセスの高度化支援
建設DXサポートサービスの機能拡充
（AI活用によるサポートサービスの高度化）

＋

◆「バトンゾーン」

地域建設業に向けた建設DXサポートサービスを活用した経営バリューアップ支援サービスを展開

経営バリューアップ支援サービス

建設のみならず災害時の緊急対応など地域の安全・安心を守るために不可欠な機能を有する地域建設業を維持する目的で、後継者不在・人財不足等の問題を抱える企業へDXサービス・建設技術・人財・資金等を提供することで地域創生に貢献

【経営バリューアップ支援サービスの展開】
地域建設業支援
- DXサポートシステムの導入
- 人財交流等による建設技術支援
- 資本提携　・資金提供など

「長期」視点／トランスフォーメーションの姿

◆ 次世代型事業ポートフォリオの確立でトランスフォーメーションを実現

- 循環型社会を見据えて
  ①建設事業と②グロース事業を「インフラアンチエイジング事業」へと昇華
- 建設産業全体への貢献事業として
  ③イノベーション事業を「建設リスキリング事業」へと昇華

② ≪グロース事業≫
建設関連事業（シナジー創造）

① ≪建設事業≫
総合建設事業

③ ≪イノベーション事業≫
建設DXサポート事業（建設業デジタル化）

昇華

進化

昇華

≪インフラアンチエイジング事業≫

循環型社会への適応

専門事業領域

総合建設領域

狭義の建設事業やインフラリニューアル事業の枠を超え、建設に関わる技術の提供だけでなく、「循環型社会」を背景としたインフラの安全性・信頼性の維持に関わる一連の建設関連サービスを提供する複合事業

≪対応領域≫

長寿命化 | 環境関連 | 防災・減災 | リニューアル

≪マーケット≫ 地域創生フィールド・海外フィールド／PPPフィールド

≪建設リスキリング事業≫

未来のConstructionをつくる

将来予測される建設供給力ギャップを補うために、業界のデジタル化により生産プロセスと労働力の高度化を推進し、建設業の持続可能な成長を支える基盤を提供する事業

≪対応領域≫

Digital Construction | 経営バリューアップ支援

≪マーケット≫地域建設企業／建設関連企業